Express5800/R120j-1M/R120j-1M（2nd-Gen）
Express5800/R120j-2M/R120j-2M（2nd-Gen）
Express5800/R110k-1M/R110k-1M（2nd-Gen）
Express5800/T110k-M/T110k-M（2nd-Gen）
Express5800/R110m-1/R110m-1（2nd-Gen）
iStorage NS300Rk/NS300Rk（2nd-Gen）
iStorage NS500Rk/NS500Rk（2nd-Gen）

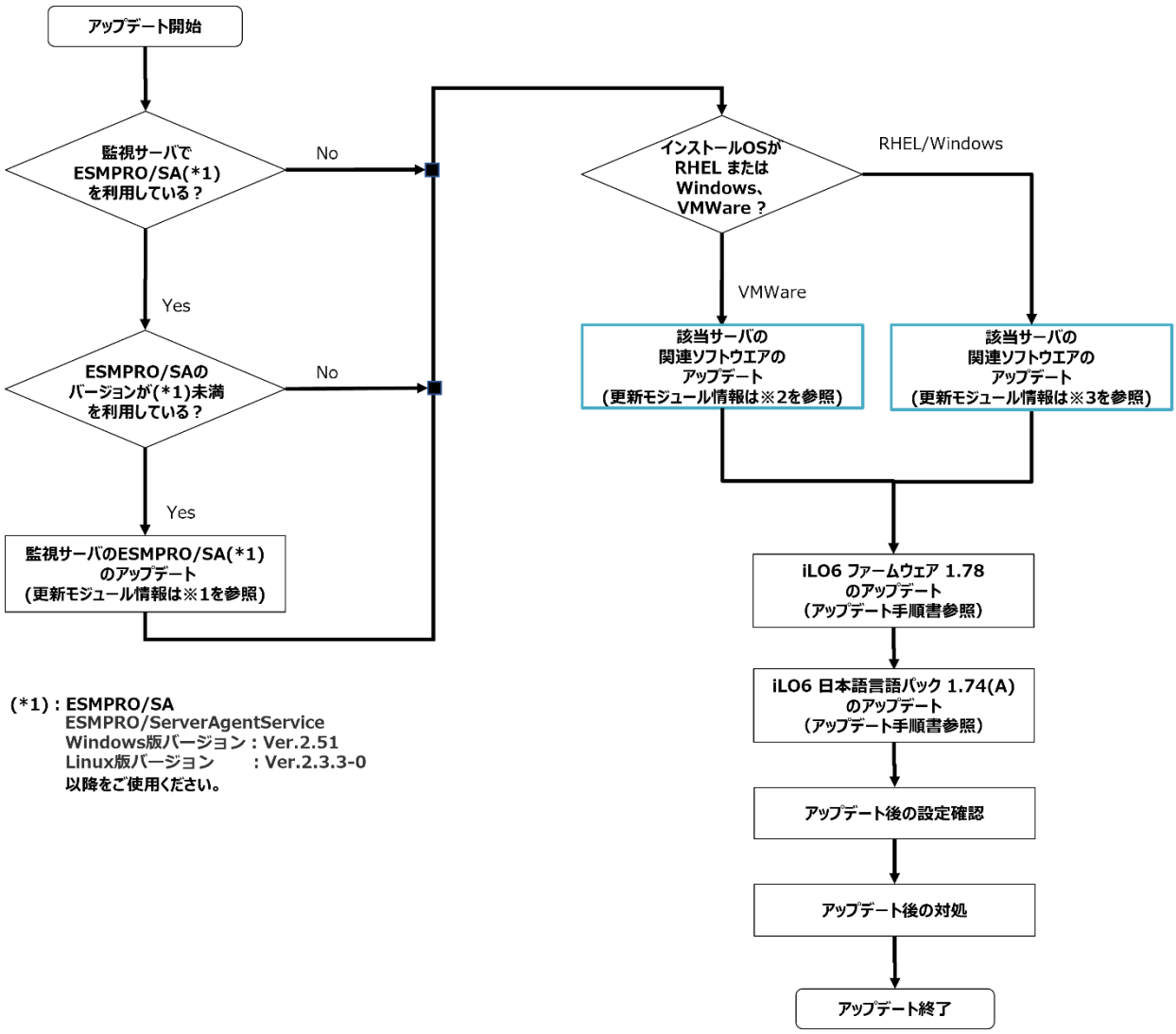
iLO6 ファームウェア：バージョン 1.78 へアップデートされる際の事前確認（ご案内）

日本電気株式会社
2026 年 11 月

iLO6 ファームウェア：バージョン 1.78 へのアップデートを実施する前に、以下のフローに従って、必要な確認および対処を行ってください。

- お客様がご利用のサーバーの iLO6 ファームウェアのバージョンの確認。
- 監視サーバーで ESMPRO/ServerAgentService をご利用の場合の事前対処。
- お客様がご利用のサーバーの OS に応じた事前対処。

バージョン確認方法や、対処が必要となった場合の更新モジュールの入手情報、およびアップデート方法の詳細情報は、2 ページ以降をご確認ください。

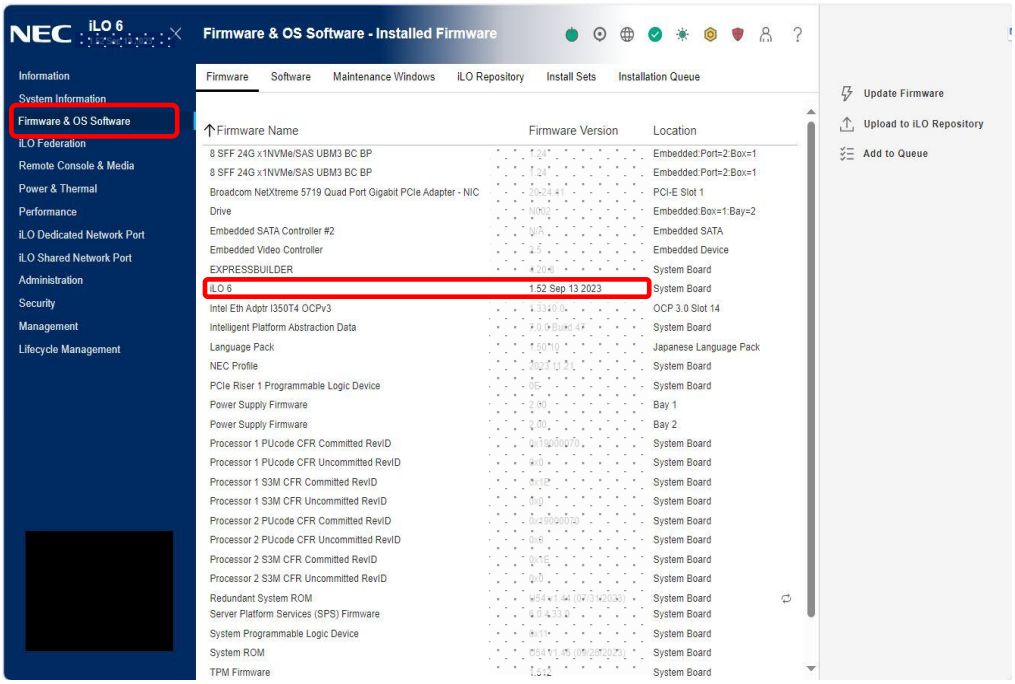


(*1)：ESMPRO/SA
ESMPRO/ServerAgentService
Windows版バージョン：Ver.2.51
Linux版バージョン　　：Ver.2.3.3-0
以降をご使用ください。

【 バージョン確認方法 】

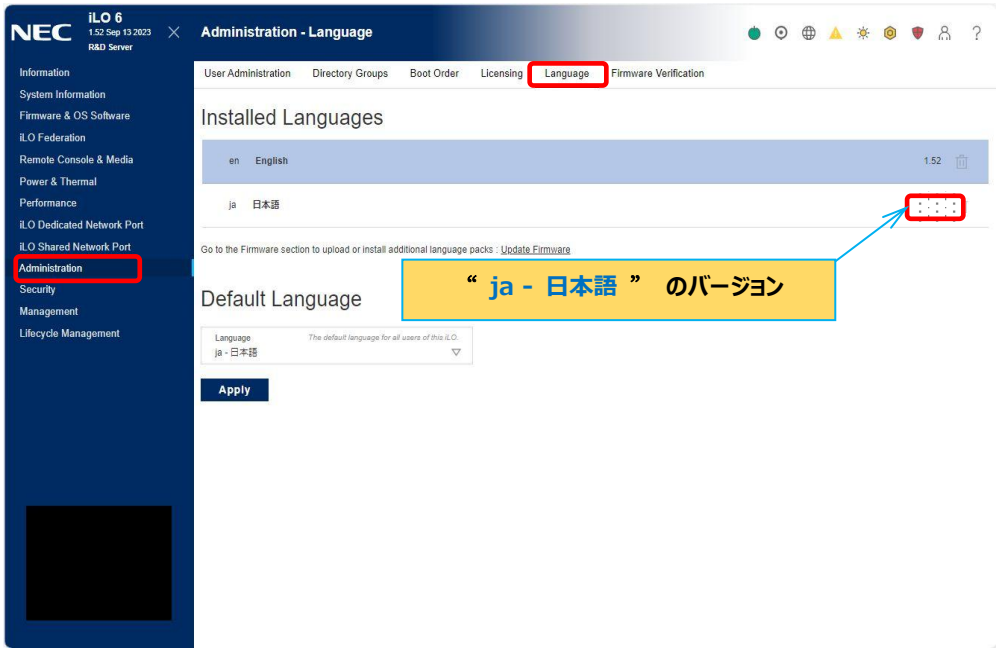
◆ iLO6 ファームウェアのバージョン確認

(1) iLO Web インターフェイスにログインします。
(2) iLO Web インターフェイス：「Firmware & OS Software」→「Firmware」へと進みます。
(3) iLO6 ファームウェアのバージョンの確認を行います。



◆ iLO6 日本語言語パックのバージョン確認

(1) iLO Web インターフェイス：「Administration」→「Language」へと進みます。
(2) iLO6 日本語言語パックのバージョンの確認を行います。



◆ **※1** ESMPRO/ ServerAgentService のバージョン確認方法、アップデート方法

以下の Web サイトを確認して、バージョン確認および最新版のアップデートを行ってください。

https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140106271

◆ **※2 関連ソフトウェアのアップデート方法（インストール OS：VMware）**

以下の Web サイトを確認して、Agentless Management Service(以下、「AMS」)と iLO Channel Interface Driver のアップデートを行ってください。

VMware のバージョンによってダウンロードサイトおよびバージョンが異なります。

■ ご使用の OS が VMware ESXi7.0 の場合

https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111583

- Agentless Management Service（701.11.7.0）
- iLO Channel Interface Driver（700.10.8.2）

■ ご使用の OS が VMware ESXi/ESX 8.0/9.0 の場合

https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010112233

- Agentless Management Service（802.12.4.0）
- iLO Channel Interface Driver（800.10.9.1）

◆ **※3 関連ソフトウェアのアップデート方法（インストール OS：RHEL/Windows）**

OS と Starter Pack の対応表にて、ご使用の OS が Starter Pack Version S8.10-013.05 に対応しているかを確認してください。
対応している場合には、該当 Starter Pack を使用し、AMS のアップデートを行ってください。
必要があれば、RAID 通報サービスのアップデートも行ってください。

対応していない場合には、AMS に関しては「AMS の個別アップデート手順」を参照して個別にアップデートを行ってください。

＜Starter Pack について＞
本製品で使用する Starter Pack は、以下の Web サイトに最新版が掲載されています。
Web サイトに掲載されている内容を確認し、Starter Pack Version S8.10-013.05 を適用してください。
https://www.support.nec.co.jp/
(「NEC サポートポータル内検索」で、「S8.10-013.05」を入力して検索してください。)

＜ OS と Starter Pack の対応表について ＞
「OS と Starter Pack の対応表」は、以下より入手できます。
https://www.support.nec.co.jp/
(「NEC サポートポータル内検索」から対象のモデル名を検索し、「製品マニュアル」
をクリックし、「ユーザーズガイド」を選択)

- AMS の個別アップデート手順

  AMS のみを個別でインストールする際は、以下の手順を参照してアップデートを行ってください。

  - Windows の場合

    Starter Pack 媒体/ISO イメージ直下の「contents.html」を開き、『Agentless Management Service for Windows X64』を検索し、「Filename」列の実行形式ファイル名（cp<Windows パッケージ ID>.exe）を確認します。

    Starter Pack 媒体/ISO イメージの packages ディレクトリ配下にある上記の実行形式ファイルを実行してアップデートを行います。

    ※ アップデートの途中で「SMA（System Management Assistant） Option」のダイアログボックスが表示された場合は、「いいえ」を選択します。

  - Linux の場合

    (1) 現在、AMS がインストールされているバージョンを確認してください。

    例：# rpm -qa | grep amsd

    amsd-3.7.0-1869.1.rhel8.x86_64

    (2) 旧バージョンの AMS がインストールされている場合、AMS を一旦アンインストールしてください。

    例：# rpm -e amsd-3.7.0-1869.1.rhel8.x86_64

    (3) Starter Pack をマウントした後に packages 配下のご使用の OS のメジャーバージョンに対応する以下のいずれかの RPM パッケージを作業ディレクトリにコピーしてください。

    - RHEL8.x の場合：amsd-<AMS バージョン>-<ビルド識別番号>.rhel8.x86_64.rpm
    - RHEL9.x の場合：amsd-<AMS バージョン>-<ビルド識別番号>.rhel9.x86_64.rpm

    例：# cp /run/media/root/SPP<Starter Pack バージョン>/packages/amsd-<AMS バージョン>-<ビルド識別番号>.rhel8.x86_64.rpm /tmp

    (4) RPM パッケージをコピーした作業ディレクトリに移動して以下のように AMS をインストールしてください。

    例：# rpm -ihv amsd-3.7.0-1869.1.rhel8.x86_64.rpm

    (5) 作成した作業ディレクトリを削除してください。

    (6) 以下のコマンドを実行して AMS(amsd)が起動されていることを確認してください。

    例：# ps -ef | grep amsd | grep -v grep

    root 14395 1 0 19:32 ? 00:00:00 /sbin/amsd -f